



知床科学委員会 しんぶん

知床世界自然遺産地域 科学委員会 NO. 21



知床世界自然遺産地域の管理に関して、有識者に科学的な助言を求める「知床世界自然遺産地域科学委員会」が開催されました(2021年度第2回目:2022年3月7日)。

会議では、長期モニタリング計画の取組みが1期目10年の区切りを迎えたことから、1期目の結果をまとめた総合評価書案、ならびに2期目に向けた改定内容を中心に話し合われました。

必見! TOPIC

モニタリング10年間の結果は? ~3つの視点からの評価~

海水を特徴とする生態系



①世界自然遺産の登録基準が維持されていますか?

知床の海と陸の生態系の相互関係、及び希少種や固有種を含む生物多様性は、概ね現在も良好に維持されていると評価されました。一方で、一部の海鳥や淡水魚類では減少が認められるなど、注視していくべきとの指摘もありました。

②ユネスコやIUCNの勧告(世界遺産としての宿題)に対応できていますか?

『ダム改良の結果によるサケ科魚類の遡上・降下数の増加』や『過剰なエゾシカの捕獲に伴った植物の回復』等、勧告に対応した施策が実施され、効果も認められると評価されました。

エゾシカ個体数の抑制



エコツーリズムの推進



③知床世界自然遺産地域管理計画に基づいて管理できていますか?

適正な利用とエコツーリズムのための管理と取組みが実施され、自然環境保全に配慮した観光などが実施されてきました。一方、ヒグマと人の軋轢(農業被害や市街地への出没など)の解消、気候変動の影響の把握などが課題となっています。

3つの視点から3つの枠組みに

1期目は各モニタリング項目に評価点をつけ、平均値により総合的な評価を行いました。しかし、管理により改善が可能なもの(例:ダム改良)と、管理自体が難しいもの(例:気候の変化による生物への影響)が混在した状態で評価したため、評価値の解釈が困難な部分がありました。

そこで2期目は、同じ基準で比べることができるように

- 保全状況(状態): 例 主な動植物の個体数の現状等
 - 環境、観光圧力(状態、動向): 例 気温変化や利用者数等
 - 管理/対策(管理努力の実績): 例 ダムの改良等
- と、3つの枠組みを設定することにしました。

この枠組に基づいて、各評価の考え方や、各モニタリング項目が再整理されたほか、新たな項目も追加されました。

「環境、観光圧力」とあるけど、観光や漁業といった利用は悪いことなの?

ルールに則り、観光や漁業等で自然環境を利用することも、知床世界自然遺産の管理において健全な姿といえます。ただし、過剰な、または無秩序な利用で自然環境に影響を与えると問題です。持続的に利用可能なルールの厳守や、よりよい仕組み作りが大切です。



登山を楽しむ



漁業の様子(ウニ漁)

総合評価の結果に基づく今後の遺産管理に向けて (科学委員会からの意見)

- 根室海峡の水産資源保全と持続的利用のため、日ロ両国における情報の共有化を図る必要がある。
- ウミウヤカモメ類が減少しているが、その要因が不明であるため、明らかにすべきである。
- ヒグマによる人為被害や人とヒグマとの軋轢を回避するための取組を科学的データに基づき、より一層進めていく必要がある。
- 関係機関で連携・協力し、外来種の侵入状況の把握等に努める必要がある。
- 根室海峡に来遊するトドの個体群および被害状況のモニタリングに基づく管理体制の構築と実効性のある漁業被害対策の立案が重要である。
- ダム改修に対する漁業関係者の関心が高まっていることを踏まえ、より積極的なダム改修及びその効果の広報により、世界自然遺産としての顕著な普遍的価値(OUV)の向上を目指した管理が進められるべきである。
- 低コストでエゾシカの低密度を維持する手法確立が必要である。
- 知床における海洋や気象に関するモニタリングの拡充、気候変動適応策に係る検討を加速させるべきである。

●より詳細を知りたい方は下記リンクもご参照ください。

知床データセンター科学委員会のページ:http://shiretoko-whc.com/meeting/kagakuiinkai_index.html

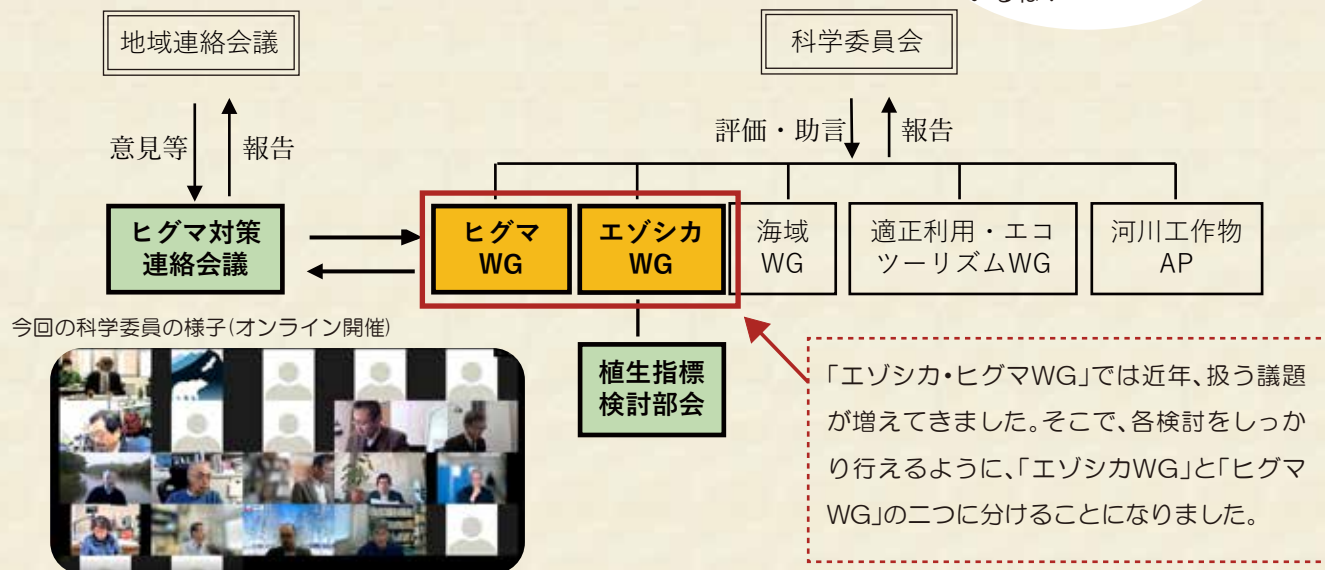
ワーキンググループの体制が変わります



科学委員会は、テーマ毎にワーキンググループ(WG)とアドバイザー会議(AP)を設置しており、各WG/APでとりまとめされたことが科学委員会で報告されています。

知床の自然を守るため、多くの会議が開かれていますね！

■2022年4月以降の体制



●しんぶんのバックナンバー、会議や知床世界自然遺産地域の情報を更に知りたい方は下記HPへ
知床データセンター:<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■問合せ先■ 環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575